

ちば県政を



身近に!



千葉県議会議員 しのぎふみのり (篠崎史範)

〒273-0125 鎌ヶ谷市初富本町 1-3-8
エクセルハイツKEYAKI 2階C
Tel/Fax.047-412-3051 E-mail:fshinozaki@nifty.com
http://www.fshinozaki.com/



県議会本会議での一般質問

昨年12月議会に、一般質問を行いました。この4月に勇退する堂本暁子知事に対しては、最後の質問となりました。堂本知事には、任期末を迎え、二期目当初に掲げたマニフェストの中で、実行しきれなかったことについて伺いました。知事は、「医療問題」だと答弁し、小児科医を筆頭に、麻酔医、産婦人科医などが地域的に偏在し、(特に地方での)医師の数が足りない状態を解決できなかったとしました。

一般質問より やり残したのは医療問題、堂本知事



しのぎふみのり 県議会活動

加えて堂本知事に、松戸市幸谷にある通称「関さんの森」を横断する都市計画道路建設計画についての見解を伺いました。関さんの森はいわゆる里山ですが、道路を建設するための買収の手続きが始まっています。堂本知事は、「強制収容は極力避けたい」とし、「森が守られるように、市と関さんの話し合いをバックアップしていきたい」と答えました。その後2月に入り、市と関さんは、道路を迂回させ森を守る方向で、基本合意に達しています。

県営住宅用地の今後の活用・転用は

土地を購入してから事実上の塩漬けになっている県営住宅用地の、他の



市内四本柵の県営住宅用地

用途への転用も含め、今後の計画について質問しました。このような土地は県内に2ヶ所あるのですが、ともに鎌ヶ谷市内に存在します。ひとつは、市内初富四本柵の1・9ヘクタール。2000年に20億円で購入。もう一



しのぎふみのり 視察報告

千葉県国際総合水泳場 指定管理者で運営

千葉県がセントラルスポーツ・オーエンズグループに指定管理者として運営を委託している国際総合水泳場(習志野市)に行ってきました。同グループによる運営が始まったのは、2006年から。この3年間の実績としては、年間営業日数の拡大や、自主事業の充実、省エネの



徹底による経費削減などが挙げられます。自主事業では、岩崎恭子さんなどセントラル所属のオリピック選手による水泳特別教室などが実施されました。利用料金収入も伸びており、指定管理が成功した事例といえます。この4月に契約更新を迎えますが、昨年12月議会で、5年間の契約延長の議案が可決しました。

つは、市内佐津間火焼田の1ヘクタール。02年に10億円で購入しています。嶋崎仁まちづくり担当部長は、「県の厳しい財政状況から、住宅の整備時期は示せない」「購入金額の2分の1が国庫補助のため、他への転用は困難」と答弁しました。

全国的に住宅はだぶついている状況で、県営住宅は民間からの借り上げによる解決も図れます。縦割りを廃し、これらの用地の他の用途への転用を国に求めていくよう、要望しました。



しのぎふみのり インタビュー



吉田たいら

父親が創業したバス会社を引き継ぎ、ユニークな経営手法で新規路線を開拓してきた平和交通前社長の吉田たいら氏(49)。昨年4月から今年2月にかけては千葉県も出資する第三セクター「いすみ鉄道」社長も務め、経営改善に取り組んできました。苦しい財政状況が続く千葉県政。三セク再生の経験をお聞きし、県財政再建のヒントを探ります。(聞き手・篠崎史範)

■バス会社の平和交通は、規制の強い路線バス事業で、新規路線を開拓してきました。利用者、利用者の視点で事業経営してきた結果ではないでしょうか。自治会と協力しながらの子ども110番バス、初

の東京駅から千葉までの深夜急行バス、低床バスの積極導入、これは現在全車両の8割を占めていますが、たえず利用者の立場を重視してきました。

【ちばの四季・いすみ鉄道】



■いすみ鉄道では、初の民間人社長として「官」が思いつかないような様々なアイデアを成功させています。

1988年に国鉄木原線から第三セクターのいすみ鉄道に変わった当時の年間乗客数は、112万人。それが現在では40万人台です。お金を使わずに乗客を増やすために、地元にある宝物を発掘し、マスコミを活用して宣伝しました。

減収続きで萎縮していた従業員の気持ちに、「チャレンジ」を芽生えさせる。いすみ鉄道に就任して、最初に手がけたことです。

吉田たいら



これまでもいすみ鉄道は、お客さんが年々減少し、それに従ってダイヤを減らし、従業員の数を削減してきています。

竹やぶを伐採し切り株を利用した幻想的な「イルミネーション」、また、オリジナルぬれ煎餅「い鉄揚げ」の販売や、「枕木オナー」制度などです。

同じように財政の苦ししい千葉県に、一言お願いします。千葉県は気候風土に恵まれた環境です。宝物もたくさん埋もれています。これを発掘し、磨きをかけて、全国に発信する。そのためには、宝物を引き出す努力を、もつともつとするべきではないでしょうか。

■篠崎史範のプロフィール

1965年生まれ、43才。電気通信大学卒。環境調査会社に勤務の後、99年、鎌ヶ谷市議会議員に当選。二期務める。07年、千葉県議会議員に当選。

